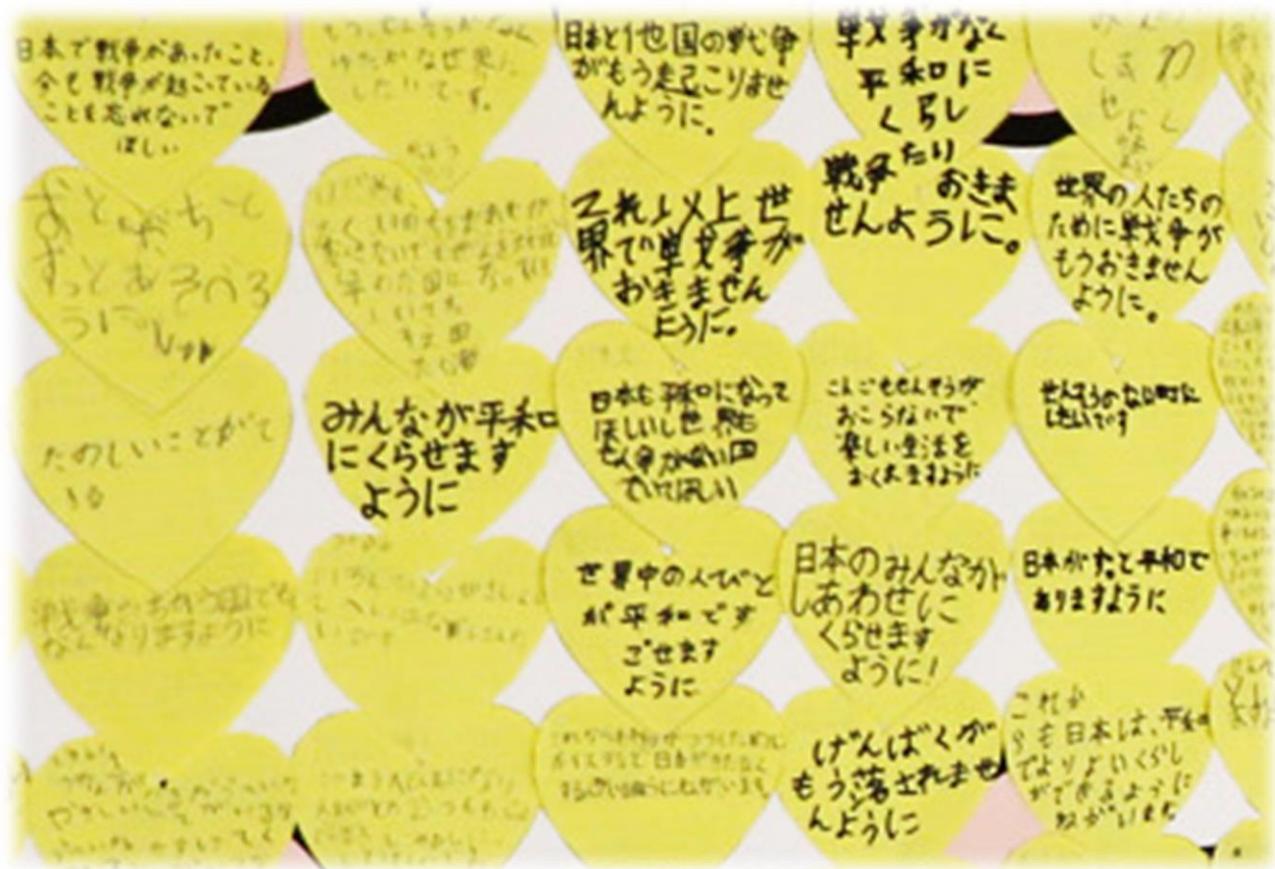


令和7年度 ふじみ野市 平和祈念フェスティバル

戦後80年 私たちのまちから平和の尊さを再確認
— 私たちがうけ取った命 そして、次の世代へ —

実施報告書



戦後80年特別事業「ふじみんメッセージパネル」の一部

主 催 ふじみ野市／ふじみ野市教育委員会
企画運営協力 ふじみ野市平和推進事業実行委員会

■はじめに

本年20周年を迎えるふじみ野市では、恒久平和を願い、戦争のない平和な世界が訪れることができるよう、継続的に平和推進事業に取り組んでおります。

平成22年10月1日には、本市から平和の大切さを発信することを目的に「ふじみ野市平和都市宣言」を制定しました。平成25年度からは、市民で構成される「ふじみ野市平和推進事業実行委員会」を組織し、平和推進事業の企画・運営にご協力をいただいております。

本年は戦後80年という節目の年でもありました。消えつつある戦時の記憶や人々の労苦を記録し、次世代へ伝えようという意識も高まり、全国各地で、戦争に関する資料展示や語り部の育成などが行われています。

本年度の平和祈念フェスティバルは、「戦後80年 私たちのまちから平和の尊さを再確認—私たちがうけ取った命 そして、次の世代へ—」をテーマに掲げました。戦争の悲惨さや先人たちの労苦、命の尊さを改めて認識し、命のバトンを過去、現在そして未来につなげていこうという思いを込めて、フェスティバルを開催いたしました。

お陰様をもちまして、本年度の平和推進事業も、多くの方々にご協力いただき、盛況にて終了しました。特に戦後80年特別事業では、多くの方々から平和への思いを綴ったメッセージを寄せいただきました。皆様からいただいた平和への思いを忘れず、今後さらに平和事業の充実を図ってまいります。

今の私たちがこの世に存在しているのは、苦しい状況の中にあるながらも守られてきた命、つなげてきた命があるからです。命の尊さ、毎日が「平和」であることの尊さを再確認していただきたいと存じます。

平和な未来に向けて、先人たちの記憶や私たちが戦争について学んだことを、次の世代に引き継いでいきましょう。戦争も核兵器もない、平和な世界に、一步ずつでも近づけるために。

令和7年11月

ふじみ野市
ふじみ野市教育委員会
ふじみ野市平和推進事業実行委員会

■目次

1 実施報告	1 頁
2 写真	5 頁
3 来場者アンケート調査結果	10 頁
4 開催までの経緯	15 頁

1 実施報告

1 事業名

令和7年度 ふじみ野市 平和祈念フェスティバル

2 テーマ

戦後80年 私たちのまちから平和の尊さを再確認
—私たちがうけ取った命 そして、次の世代へ—

3 実施内容

(1) フェスティバル

【日 時】 9月21日(日) 午後1時～午後3時30分

【場 所】 ゆめぽると（大井総合支所2階）ホール

【来場者数】 120人

① 講演会 「朗読ボランティアによる被爆体験記朗読会」

広島県にある国立原爆死没者追悼平和祈念館より、朗読ボランティア2人を派遣していただき、被爆者の記憶や思いを共有し、次の世代へ引き継いでいくために、被爆体験記や原爆詩の朗読をしていただきました。またDVDによる原爆被害の概要紹介と参加者の朗読体験も行っていただきました。

【朗読ボランティア】

友川 裕己子氏・松尾 洋子氏

② ステラジュニアコーラスによる合唱

ステラ・イースト及びステラ・ウェストに所属する合唱団で、小学生から高校生までの子ども達で構成しています。平和への思いを歌で表現していただきました。

【曲名】

- ・にじ
- ・大切なものの
- ・気球に乗ってどこまでも
- ・BELIEVE

令和7年度平和祈念フェスティバル
プログラム

戦後80年
私たちのまちから平和の尊さを再確認
—私たちがうけ取った命 そして、次の世代へ—

日時：令和7年9月21日（日）午後1時～午後3時30分
会場：大井総合支所2階ゆめぼると

主 催／ふじみ野市・ふじみ野市教育委員会
企画・運営／ふじみ野市平和運営事業実行委員会

平和祈念フェスティバル 次第

1.開会
2.平和都市宣言
3.玉井農政課長 高橋 博
4.平井農業振興課行農委員 鈴鹿利行
5.鶴巻会長「感謝のラントリックによる被爆体験記発表会」
6.スカラ・ラクニニアコーラスによる合唱
7.閉会

ふじみ野市平和都市宣言

お問い合わせ先は、ふじみ野市です。
この会は、ふじみ野市が主催する会で、ふじみ野市が開催することなく、他の市の開催地で開催されています。
しかし、その他の開催地では必ずしもこの会で、開催地が被爆地で、多くの被爆者がおられます。
私たちは、被爆地で開催されるふじみ野市を、日本を愛し、美しい日本を愛します。
私たちは、被爆地で開催されるふじみ野市を、世界中の人に理解して、被爆地を尊重することを願っています。
ここに、ふじみ野市が開催されるふじみ野市を、世界中の人に理解して、被爆地を尊重することを願っています。
令和22年9月11日

当日配布プログラム

（2）パネル展示会

【期間及び場所】

- | | |
|---------------------|-------------------|
| ① 9月 8日（月）～9月19日（金） | 大井総合支所1階展示スペース |
| ② 9月21日（日） | ゆめぼると（大井総合支所2階） |
| ③ 9月22日（月）～9月26日（金） | ふじみ野市役所本庁舎1階ギャラリー |

【パネルテーマ】

平和首長会議原爆ポスター展
－1945年から未来へのメッセージ－

【展示数】

写真パネル 18点

被爆の実相についての理解を深め、核兵器廃絶への思いを共有していただくため、平和首長会議原爆ポスター展を開催しました。



被爆80周年「平和首長会議国内加盟都市会議」ロゴマーク

【平和首長会議原爆ポスター展 あいさつ文 より】

（前略）

皆様には、このポスター展を通して、核兵器がもたらした被害の実相を直視し、核兵器が人類の生存そのものを脅かす「絶対悪」だということを理解していただきたいと思います。そして、この地球上から核兵器がなくなるよう、皆様が行動を起こして下さることを期待しています。我々一人一人が踏み出す一歩は小さいかもしれません。しかし、それが核兵器廃絶と世界恒久平和を願う国際的な世論に広がっていき、必ずや核兵器のない平和な未来を実現できるものと確信しています。

(3) 戦後 80 年特別事業

① ふじみんメッセージパネル

市内の小学生・中学生、大井総合支所、ふじみ野ステラ・イースト及びステラ・ウェストを訪れた皆様、当日のフェスティバル来場者の皆様に、ハート型のメッセージカードに「平和への思い」を記入していただき、「ふじみんメッセージパネル」に貼っていただきました。



ふじみんメッセージパネル

【期間及び場所】

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ① 9月 1日(月)～9月 12日(金) | ステラ・イースト及びステラ・ウェスト |
| ② 9月 8日(月)～9月 19日(金) | 大井総合支所 1階展示スペース |
| ③ 9月 21日(日) | ゆめぼると (大井総合支所 2階) |
| ④ 9月 22日(月)～9月 26日(金) | ふじみ野市役所本庁舎 1階ギャラリー |

② ふじみん ぬりえ

市内の公立保育所に通うお子様に、ぬりえで平和を表現していただきました。完成したぬりえは、ふじみんパネルと一緒に展示しました。



ふじみん ぬりえ

(4) 図書館「戦後 80 年」テーマ図書展示

【期間】 8月 1日 (金)～9月 30日 (火)

上福岡図書館では「戦後 80 年 戦争を語り継ぐ」、大井図書館では「戦後 80 年 平和を考える」をテーマに関連図書の展示・貸出を行いました。

4 周知活動

- ・市報 9月号記事掲載
- ・市ホームページ 9月上旬～記事掲載
- ・ポスター掲示 (市掲示板 30箇所、市内公共施設及び小・中学校)
- ・チラシ配架 (市内公共施設)、配布 (市内小・中学校全児童)
- ・報道機関への情報提供



ポスター【上】とチラシ(両面印刷)【下】

2 写真

(1) フェスティバル

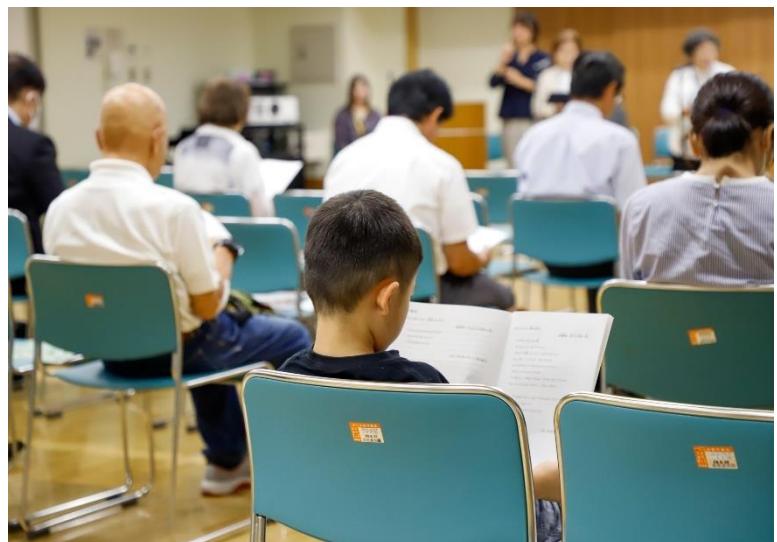
戦後 80 年特別事業 展示風景



開会式



講演会「朗読ボランティアによる被爆体験記朗読会」



ステラジュニアコーラスによる合唱



メッセージパネルコーナー・閉会式



(2) パネル展示

大井総合支所展示スペース



市役所本庁舎 1 階ギャラリー



(3) 戦後 80 年特別事業



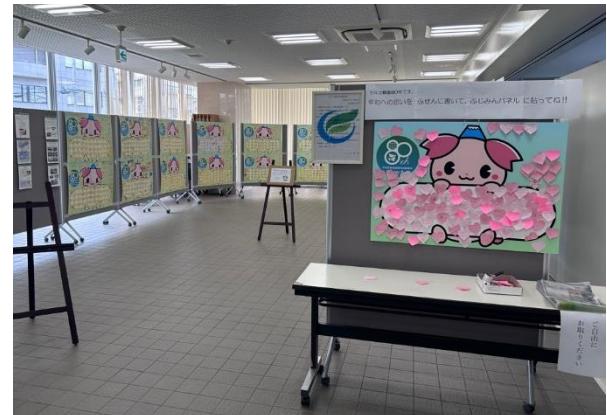
ステラ・ウェスト会場



ステラ・イースト会場



大井総合支所会場



市役所本庁舎会場

(4) 図書館 テーマ図書展示



上福岡図書館 展示風景



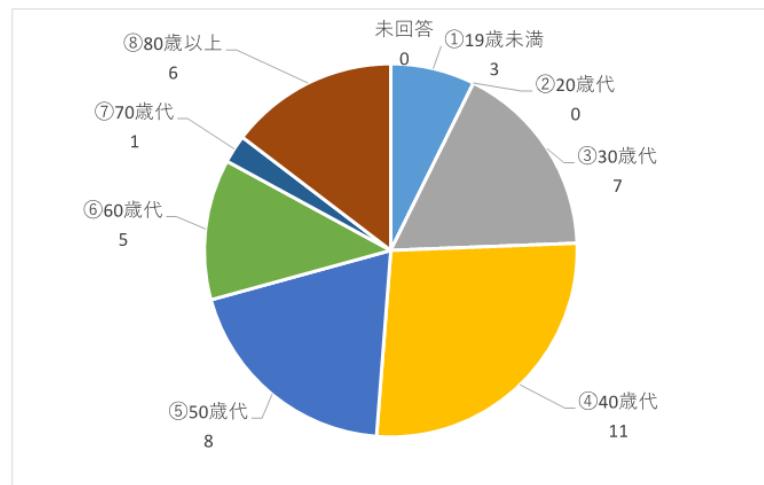
大井図書館 展示風景

3 来場者アンケート調査結果

開催日 令和7年9月21日（日）
場所 ゆめぽると
対象 市民
結果 回答者総数41人（内訳：紙回答40人、WEB回答1人）

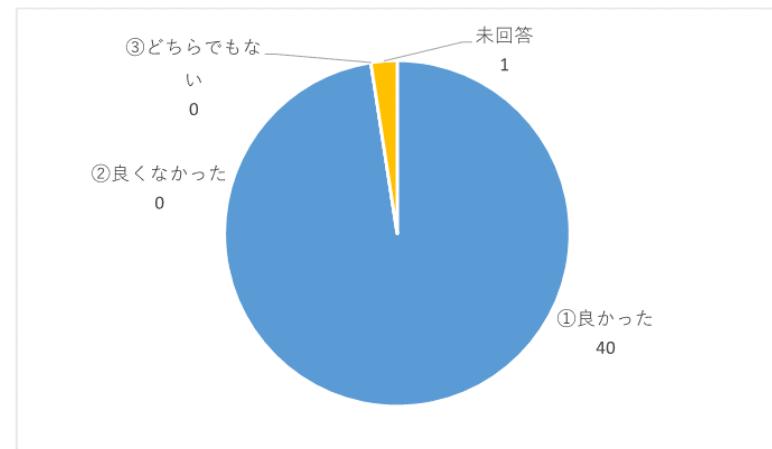
回答者年齢

①19歳以下	②20歳代	③30歳代	④40歳代	⑤50歳代	⑥60歳代	⑦70歳代	⑧80歳以上
3	0	7	11	8	5	1	6



問1 本日の事業について、ご意見をお聞かせください。

①良かった	②良くなかった	③どちらでもない	回答なし
40	0	0	1



【問1】本日の事業について、ご意見をお聞かせください。

(19歳以下)

- ・自分でもその場にいる気持ちだった。
- ・原爆の事をよく知れてよかったです。

(30歳代)

- ・小学生が歌っている姿を見て、子ども達の未来のためにも平和な日本にしていきたいと思いました。
- ・貴重なお話を生で聞く事ができ、大変有難い時間でした。
- ・ステライースト・ウエスト合唱団の歌がとてもよかったです。

(40歳代)

- ・平和が当たり前ではないことを再確認しました。未来へ向けて平和が続くよう祈りたいです。
- ・戦争の残酷さがとても伝わりました。
- ・手話のにじの合唱に感動しました。
- ・朗読の方の話し方がとても上手で、子ども（7才）が臨場感を感じてこわかったと言っていました。原爆の話は慣れているはずでしたが…さすがでした！
- ・ニュースで戦争について見るのと、実際にこう言った会に自分が参加をすることで、考えるきっかけになりました。悲しく苦しい思いをされた方々の亡くなつた命があつたからこそ、今の私たちの暮らしがあります。私はもちろん、子ども達と一緒に考えあう、よいきっかけになりました。

(50歳代)

- ・朗読会は初めての体験でしたが、とてもよかったです。
- ・朗読ボランティアによる被爆体験朗読会がとても貴重な時間となつた。本当ならば、小3の息子と参加予定でしたが、息子の体調不良により、私だけの参加となりました。帰宅した後、しっかりと朗読記を伝えようと思います。
- ・とても良かったと思います。子供達のコーラスはとても癒されました。体験記や詩の朗読も心を打たれました。
- ・このような場で直接お話を聞く事で、平和について真剣に考える機会をいただきました。

(60歳代)

- ・中学生たちがすばらしい。
- ・朗読会は参加者も朗読する事によって、より深い学びの機会となつたと思います。
- ・広島からお越し下さつた2名の朗読者の方々に深く感謝申し上げます。遠路はるばるお越し下さつたこと本当にありがとうございました。参加型のフェスティバルはとてもよかったです。
- ・朗読を受けるだけでなく、自ら朗読をしてみるなかで、被爆者の語りが頭の中に入つてきて、その状況をイメージし共感することができた。SJCのコーラスが更に平和への祈念につながり、全体として素晴らしい会になったと思う。

(70歳代)

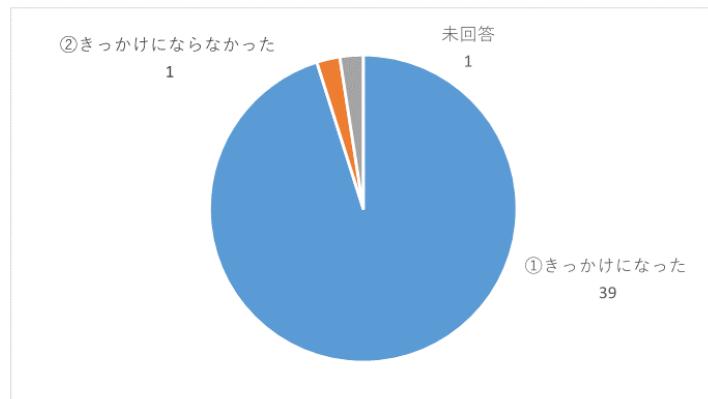
- 朗読会は初めてで良かったです。声を出す参加型は心に残るかも？

(80歳代)

- この事業だけでなくこの類の講演を見聞きする度にあんたんたる思いで胸がつまる。その時の痛みだけでなくその後も何十年と続く健康被害、忘れようにも忘れる事が出来ずにいるご本人を思うと…
- 昭和18年生まれですが戦争のことはほとんど記憶にありません。あらためて色々考えさせられました。世界平和、核の根絶を願います。
- 内容充実、素晴らしいです。
- 市長の平和への思い、大切に感じました。各人が意識を持つことが大事と。

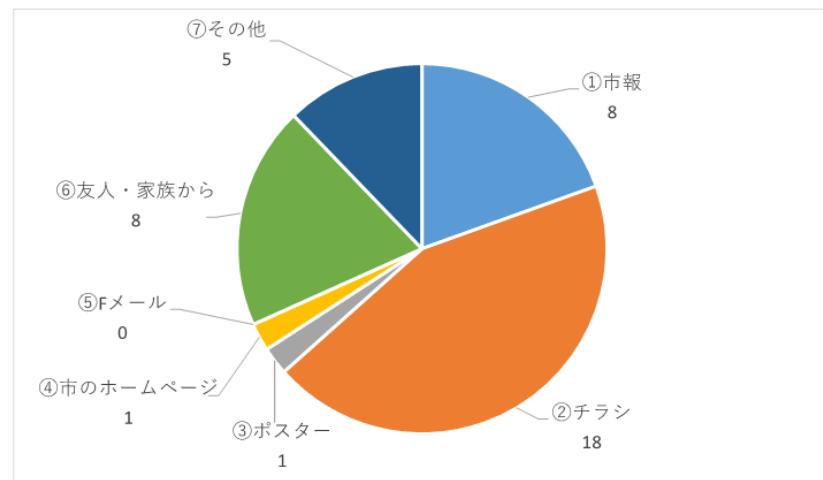
問2 今回の事業は平和について考えるきっかけになりましたか。

①きっかけになった	②きっかけにならなかった	回答なし
39	1	1



問3 令和7年度平和祈念フェスティバルを何によって知りましたか。(複数回答可)

①市報	②チラシ	③ポスター	④市のホームページ	⑤Fメール	⑥友人・家族から	⑦その他
8	18	1	1	0	8	5



【問4】 今年度の平和事業では、講演会、コンサート、パネル展示を行いました。今後の平和事業において行って欲しい内容があればご記入ください。

(19歳以下)

- ・映画

(30歳代)

- ・講演会、パネル展示をお願いします。

- ・パネル展示

- ・合唱

(40歳代)

- ・朗読、合唱聞きたいです。

- ・朗読、合唱良かったです。

- ・当時の様子がパネルによって生々しく伝わりました。

- ・アニメ映画、漫画や絵本の展示など（はだしのゲンなど）

- ・ビリーブの歌詞をプログラムに印刷して欲しかったです。

(50歳代)

- ・戦争体験者のお話をぜひ伺いたいです。

- ・期間を長くして展示等

- ・長期のパネル展（複数の場所）はとても良かったと思います。戦後80年だから、ではなく体験記を聞かせて頂けるチャンスがあればいいな（特に子ども達に）と思いました。充実していると思いました。

(60歳代)

- ・朗読会はぜひ続けていっていただきたい。

- ・合唱がとてもよかったです。平和や命の尊さを考える事が出来ました。

- ・ふじみ野にも戦争があった事をきちっと伝えていきましょう。

- ・映画と講演など、戦争の歴史的事実を知り、平和の必要性を考えるなど。

(70歳代)

- ・合唱も良かったです。虹は振り付けも素敵でした。ビリーブは平和の定番ですね!!

(80歳代)

- ・もっと市民の皆さんに広めていきたいです。

- ・今回のような内容充実の平和事業を継続して欲しい。

- ・なぜ戦争をしたのか、戦争をしなければならなかつたのかも展示してもらうと良いかと思います。（経緯も）

- ・支所、血圧計の裏のパネル、インパクトあるも小さかったな。ピアノの音少し、大きいかな。子どもの声届かず。

【問5】今後の市の平和事業についてのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

(19歳以下)

- ・昔のおもちゃの展示

(30歳代)

- ・今日のような貴重な機会をより多くのこどもたちに知ってほしいと思いました。小・中学生への告知展開や授業に取り入れるなどの取り組みをぜひお願いしたいです。

(40歳代)

- ・平和が続きますように。
- ・小中学生達もたくさんいて良かったと思う。パネル展や動画、市内の学校単位で実施していくと良いと思う。
- ・親子が行きたくなるような工夫をしてほしいです。せっかくなのに参加者が少なくもったいなかったです。子どもや中高生の出番を増やすのもといいかもですね。
- ・広島に住んでいる方々の方が幼い時から原爆への関心が強いと感じます。こうやって市でしていただけ事で参加しやすく、子どもと一緒に考えあうきっかけになりました。ありがとうございました。

(50歳代)

- ・小さなお子さんを連れて参加されていた方、中学生の参加を見て、私を含めて戦争の体験のない世代がどんどん参加し、今後に「平和」の大切さを伝えていけるイベントが「続く」ことを願っています。
- ・大変な事業だと思いますが、続けて欲しいと思います。
- ・最後の子どもたちの歌声で気持ちが前向きになれました。ありがとうございました。

(60歳代)

- ・引き続き、フェスティバルを実施していただきたいと思います。本日はどうもありがとうございます。
- ・参加者の数がもう少し多いと良かったですね!!せっかくのすばらしいイベントの周知を今後もどうぞよろしくお願い致します。
- ・政治の人達にこそ、しっかり参加して頂きたいですね。
- ・今回の平和祈念メッセージを頂く参加型も良かったと思う。メッセージもたくさん頂き、子ども達も平和についてしっかり考えている事がわかりました。関係者の方のご尽力だと思います。

(70歳代)

- ・ぜひ情報提供を！！

(80歳代)

- ・最後の子供達の合唱は何を歌っているのか歌詞がわからず残念。音響に努力が必要、子ども達も発声の指揮の強化を。
- ・上記（問4）に同じ（=今回のような内容充実の平和事業を継続して欲しい。）
- ・大変な事業ですが継続してほしい。

4 開催までの経緯

(1) 実行委員会委員名簿

令和7年度 ふじみ野市平和推進事業実行委員会委員名簿

役 職	氏 名 (敬称略)	推選団体名等
会 長	櫻井 信枝	ふじみ野市人権擁護委員
副会長	稻葉 政忠	ふじみ野市遺族会
委 員	今井 志子	ふじみ野市社会教育委員
委 員	新井 順子	特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター
委 員	宍戸 麻奈美	ふじみ野市P T A連合会
委 員	野原 真二	ふじみ野市公民館運営審議会

(2) 実行委員会日程

回	日付及び実施場所	議事等
1	6月20日(金) 市役所本庁舎 2階A201会議室	<ul style="list-style-type: none">会長及び副会長の選出について令和7年度ふじみ野市平和推進事業について学生によるコンサートについて
2	7月15日(火) 市役所本庁舎 5階A501・502 会議室	<ul style="list-style-type: none">令和7年度平和祈念フェスティバル内容について平和祈念フェスティバルの時間割について平和推進事業テーマ候補（案）についてポスター・チラシ（案）についてポスター・チラシ配架一覧について
3	8月18日(月) 市役所本庁舎 2階A201会議室	<ul style="list-style-type: none">プログラム・アンケートについて平和祈念フェスティバルのタイムスケジュール及び役割分担、会場レイアウトについてチラシ・ポスターについて当日のシナリオについて
4	11月5日(水) 市役所本庁舎 2階A201会議室	<ul style="list-style-type: none">平和祈念フェスティバルの総括

ふじみ野市平和推進事業実行委員会設置要綱

平成28年3月25日制定
平成29年3月31日改正

(名称)

第1条 この会は、ふじみ野市平和事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、ふじみ野市及びふじみ野市教育委員会が共催で開催する「平和推進事業」実施に当たり、その企画並びに運営等に参加・協力し、もって市民の平和に対する意識高揚を図り、恒久平和の実現に向けた市民活動の推進を図ること目的とする。

(組織)

第3条 実行委員会は、前条の目的に賛同する団体及び個人をもって組織する。

(事務所)

第4条 実行委員会の事務所は、ふじみ野市協働推進課内に置く。

(役員)

第5条 実行委員会に次の役員を置き、会員の互選により選任する。

会長 1人

副会長 若干人

2 会長は、この会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

4 役員の任期は、就任した日から当該年度の事業が完了した日までとする。

(会議)

第6条 実行委員会の会議は、必要的都度会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 会議は、その構成員の2分の1以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、実行委員会の運営に必要な事項は、会長が実行委員会の諮り、決定する。

附 則

この要綱は、平成28年3月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

編集・発行

〒356-8501

埼玉県ふじみ野市福岡一丁目1番1号

●ふじみ野市 市民活動推進部 協働推進課地域振興担当

電話番号 049-262-9016 (直通) FAX番号 049-266-1227

Eメールアドレス chiikishinkou@city.fujimino.saitama.jp

●ふじみ野市 教育部 社会教育課社会教育係

電話番号 049-220-2087 (直通) FAX番号 049-261-5100

Eメールアドレス syakaikyoiku@city.fujimino.saitama.jp



被爆80周年「平和首長会議国内加盟
都市会議」ロゴマーク



ふじみ野市誕生20周年記念
シンボルマーク